



Martin-Luther-Universität
Halle-Wittenberg



龍谷大学
犯罪学研究センター



Criminology Academic Exchange Seminar 2019

Date

2019. 10.10 木曜
5:00pm-7:30pm

Place

龍谷大学 深草キャンパス
紫光館4階 法廷教室

刑事政策の未来について ドイツと日本の大学生が英語討論 犯罪学学術交流セミナー2019

グローバルな視点で犯罪防止や刑事司法について理解を深めることを目的に、
若者自らが自国の「刑事政策のこれまで／これから」について報告します。

ドイツ・ハレ大学 学生との
学術交流セミナーを開催します。
みなさま、奮ってご参加ください。

参加無料・申込不要・英語討論

主催：龍谷大学 犯罪学研究センター

[TEL] 075-645-2184 [FAX] 075-645-2240
[E-mail] crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp
[URL] <https://crimrc.ryukoku.ac.jp>
[Twitter] @Ryukoku_CrimRC
[Facebook] www.facebook.com/RyukokuCrimRC/

Special Seminar on Criminology

国際比較を通じて考える刑事政策の未来

グローバルな視点で犯罪防止や刑事司法について理解を深めることを目的に、若者自らが自国の「刑事政策のこれまで／これから」について報告します。

主催：龍谷大学 犯罪学研究センター

企画趣旨

龍谷大学 犯罪学研究センターは、犯罪予防と対人支援を基軸とする「龍谷・犯罪学」を構築し、日本国内だけでなく、広く世界に海外にアピールすることを目的に研究活動を展開しています。

この度、龍谷大学 深草キャンパスにおいて、ドイツのマルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク（略称：ハレ大学）の学生を招き、「**ドイツ×日本 犯罪学学術交流セミナー2019**」と題して学術交流セミナーを実施します。若者自らが自国の「刑事政策のこれまで／これから」について報告し、両国の研究者を交えて英語でディスカッションを行う予定です。

このセミナーは、2020年に開催される「京都コンgres」や「ユースフォーラム」を視野に入れて開催するものです。2020年4月20日～27日、国立京都国際会館で「**京都コンgres（第14回国際犯罪防止刑事司法会議）**」が開催されます。開催テーマは「2030アジェンダ（SDGs）の達成に向けた犯罪防止、刑事司法及び法の支配の推進」で、この京都コンgresに先立ち、2020年4月13日～15日に未来の社会を担う世界の若者たちが同様のテーマについて議論を行う「ユースフォーラム」が開催される予定です。様々な価値観やバックグラウンドを持つ世界の若者とともに自分達が暮らす社会の在り方について議論し、犯罪防止や刑事司法について理解を深めることを目的とした「ユースフォーラム」となっています。国内外の約120名の学生が参加予定です。

今回開催するドイツとの交流セミナーもきたるべき2020年の「ユースフォーラム」を視野に入れて開催するものです。龍谷大学からは法学部の現在2年生の6名が参加します。参加学生は、2019年度前期から犯罪学研究センター関係教員による指導のもと、犯罪学に関連した基礎学習やプレゼンテーション技術の向上に励んでいます。日本と龍谷大学の犯罪学の発展にとっても、有益な時間となることを確信しています。ぜひふるってご参加ください。

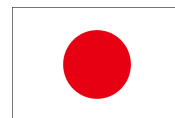


■ドイツ

マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク 学生による報告

＜テーマ（予定）＞

- (1) 「薬物使用の非犯罪化声明」
- (2) 「医療大麻合法化」
- (3) 「自殺のための麻薬」



■日本

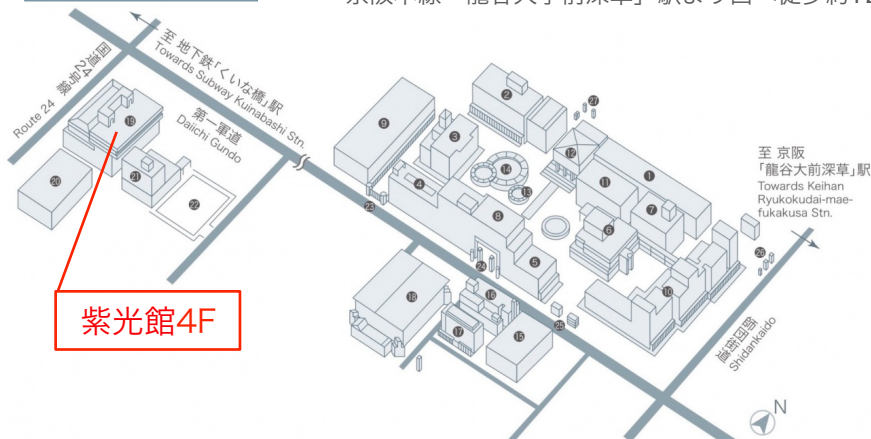
龍谷大学 法学部有志・「ユースフォーラム」参加予定学生による報告

＜テーマ（予定）＞

- (1) 「死刑と世論」
- (2) 「死刑と宗教」
- (3) 「死刑とテロ」

アクセス

- ・ 京都市地下鉄烏丸線「くいな橋」駅より東へ徒歩約8分
- ・ 京阪本線「龍谷大学前深草」駅より西へ徒歩約12分



Shall we do
Criminology?



Ryukoku
CrimRC

龍谷大学
犯罪学研究センター

